

昭和37年11月28日第三種郵便物認可
第44号 昭和41年 4月20日発行（毎月1回20日発行） 昭和38年 3月19日 国鉄東局特別承認雑誌第1531号



8万2千という最大の項目数をもつ最高の大百科

〈百科の時代〉といわれるように、日本でも何種類かの百科事典が出版されています。そのなかで世界大百科事典に最高級の折紙がつけられていますが、その第一の理由は、世界大百科が8万2千という日本で最大の項目数をもつ大百科であることです。百科事典には、その構成によって小百科・中百科・大百科の別がありますが、もちろん大百科は万能の百科です。なかでも世界大百科事典は完全な知識をおくることのできる最高の百科事典です。

学界の最高権威を動員した豪華な執筆陣

つぎに世界大百科事典を世界的水準にまで高めた理由として日本の一流学者による執筆があげられます。例えば
〈アイヌ〉知里真志保 〈医学〉小川鼎三 〈遺伝〉木原 均 〈氏神〉柳田国男 〈航空機〉木村秀政
〈芸道〉小宮豊隆 〈国学〉久松潜一 〈政治〉蠟山政道 〈脊椎動物〉岡田 要 〈船型学〉山県昌夫
〈相続〉中川善之助 〈素粒子論〉湯川秀樹 〈大脳生理学〉時実利彦 〈脳卒中〉沖中重雄 〈民芸〉柳 宗悦
のごとく、重要な項目について、その分野の最高権威が執筆されています。

お部屋のムードをひきたてる気品ある装丁

装丁はデザイン界第一人者、原弘氏による瀟洒で、しかも気品のあるものです。全24巻が書棚に揃ったとき、この気品ある装丁がお部屋のムードを引き立てます。

世界大百科は日本人のための百科事典

私たちが、外国の百科事典を活用するには、それ相当の語学力を必要とします。その点、平凡社の世界大百科事典は、お気軽にお使いいただけます。内容も欧米の一流百科事典に決してひけをとれません。

世界大百科事典

既刊 12冊
先渡し分割払

前半完成記念

’66 特別会員募集中 / 予約期間 5月末まで
4月25日＝一括配本

※お求めやすい方法があります。お近くの書店にご相談ください

各巻2,000円／全24巻一時払特価 44,000円 四六倍刊・本文各巻平均750ページ・別刷各巻44ページ・ハイビール装
※分割払会員毎月2,000円払／4月25日既刊12冊、以後刊行ごとに配本※毎巻払会員毎月2,000円払／4月25日より毎月1冊配本※一時払会員全巻一時払44,000円(4,000円2冊分割引)／4月25日12冊、以後刊行ごとに配本

国民百科 第四十四号 昭和37年11月28日第三種郵便物認可

昭和41年4月20日発行（毎月1回20日発行）

発行人

下中邦彦

発売所

株式会社平凡社

東京都千代田区四番町四番地

定価三十円



乞御高評

座談会 旅の ころ



さきごろのアンケートによりますと、本誌読者にも旅行を
たのしむ方がたいへん多いという結果が出ています。風か
おる5月、旅のころについて話しあっていただきました。

いまはむかし・臨検

田中 日本の宿屋でよくあったことがある。泊まっていると刑事がやってくる、あの臨検というのがなくなった。

山口 いまはございません。臨検というやつは、要するに、上野あたりですと両陛下がおいでになった。こういうとき、前の晩に臨検をやる。それから、刑事連中がひまなときは、どうだい、ひとつ臨検でもやろうか、と。いって。(笑い) やられるほうはいい災難ですがね。(笑い)

田中 恩師萩原朔太郎先生が、新宿の旅館で臨検をうけた。まだ独身時代ですね。満州皇帝がおいでになったときで、ほんとうに萩

原朔太郎か、朔という字はどういう字だといって、それを説明するのに困ったという。人権じゅうりんも甚だしいとおられたそうですが。

檀 でも、萩原朔太郎先生という人は、挙動不審だからね。(笑い)

山口 むかしは、東海道、日光街道、甲州街道、奥州街道、中山道——この5街道に本陣あり、脇本陣あり、あるいは宿屋がある。1人旅は必ず町役人が調べた。みんな現金は持っていました。持っている、あやしいというので引っぱる。こういう封建時代のやりかたが踏襲されて、臨検になったのでございましょうが、おかげさまで、民主化され、

どんな連れこみ旅館でも絶対臨検はございせんから、どうぞ御安心を……。 (笑い)

檀 宿帳はどこでも 田中 宿帳は出すね。山口 これは旅館の義務で、加藤清正と書こうか、弁慶と書こうか、お書きいただかないと、もしなんかあった場合、経営者がまずいことになります。これは組合が、むかしからの伝統をひきついでいるものです。当局も是非協力してくれと申しておりますので、いまでも頂戴しております。

檀 ヨーロッパでも宿帳はつける。イギリスなんかで、女の人と泊まろうとしてもだめです。やかましくて。あなたとあなたは夫婦ではないじゃないか、と。いって。(笑い) 〆

金子 去年ポーランドに泊まったのですが、嚴重でした。ホテルに泊まるには、パスポートから全部警察に届けなければならない。ホテルでいくら使ったかも申告します。それから滞在予定を延長できないですね。1

写真左上より順に

上野花山亭

山口 栄次郎

作家

檀 一雄

成城大学教授

田中 克己

作家

なだ いなだ

日本ユースホステル協会

金子 智一

司会

来栖 良夫

画家

桂 ユキ子



金波銀波がきらめいて

——集団旅行のこと——

お寺、お寺、お寺 司会 旅行といえば観光旅行が当代の主役ですね。1960年度で、国内観光旅行者の延べ人数が5億といわれていますね。

山口 交通公社さんのクーポン券が年間200億円を突破してしましよう。大手筋を加えますと、少なくとも600億円、現金はべつとしてクーポン券だけでございますよ。

なだ 団体旅行の盛んなのは、日本とアメリカ。それから北欧が案外そうですね。ラテン系の国は、集団旅行が根

〳フランスでも、上等な旅館はそうではないですか。イギリスは絶対やりませんね。パスポートをひらいて、夫婦ではない、それではと、別々の部屋にします。世界じゅうでそういうことはあるので、その点日本がいちばんルーズだ。中国とかソ連は、その点きわめて嚴重ですからね。宿屋に泊まるということは容易ならんことで、優秀な勤労者であるとか、戸籍がちゃんとしていませんとね。

金子 去年ポーランドに泊まったのですが、嚴重でした。ホテルに泊まるには、パスポートから全部警察に届けなければならない。ホテルでいくら使ったかも申告します。それから滞在予定を延長できないですね。1

日でものびると、改めて全部の届けをやりなおさなければなりませんね。

外国なみ 山口 東南アジアは、日本よりもっとゆるやかですね。日本顔負けですね。

金子 チェコなんかでも、汽車の中でパスポートを調べるのもじつに嚴重ですね。ヨーロッパでも自由圏は簡単ですが、共産圏はいまでもそうでない。で、しみじみと、日本のシステムはたいへんよくなっていると思えましたね。

山口 結局のところ日本では、なんといっても、外貨を獲得しなければならないという点があって、ホテル協会のようなところも、

できるだけことをしてお金を使っていたきたい。それでゆるやかなんでしょうね。

なだ 日本へ帰ってくると、いいホテルや旅館がふえていますね。ただ、観光客でなしに、留学生とか、アルバイトをしながらヨーロッパを旅行するわれわれとしては、サービスは悪くても、ちゃんと泊まれる安い宿があるということがありがたい。ところが日本では一流は外国なみだが、二流三流がそうっていない。ぎゃくに汚なくて高い。金持の旅行者には日本はいいかもしれないが、自分の金をしょぼしょぼためて、東洋へ行ってみたい、日本へ行ってみたいという連中は、日本はホテル代が高いといっってこぼしている。

■関連項目 《国民百科事典》 7巻P485〈旅行〉
P342〈ユースホステル〉 2巻P311〈紀行文〉 《世界
大百科事典》 6巻 P361〈観光〉 29巻P82〈ユースホ
ステル〉 30巻P98〈旅行〉 《新版世界大百科事典》 5
巻P268〈観光〉



汽車の旅 1年間のうち1泊以上の旅行をした者は自由管理職者は77.8%、農林漁業者は41.8%である。(日観協調べ)



二人づれの旅 旅の内容は、自然風景を見るものが最も多く、海外旅行と名所旧跡巡りがこれに続いている。(日観協調べ)



海外への旅行 出国日本人数は1956年の57,519人に対し、1964年は221,309人と約4倍に増加した。日本交通公社にて。

っからきらいなんですね。そういう国民性なんですね。

田中 私たち教師は、修学旅行というやつがある。大学の文学部などは女の子ですから、たいへんな神経の使いようで、世界旅行45日間、きょうはカイロ、あしたはアテネときまってしまうと、カイロでおなかをこわされても困る。こんどの修学旅行へついて行くのはだれとだれということになると、ぼくなどはまっ青になって、もう死ぬ覚悟ですね。(笑い) 修学旅行というやつはいけないね。

京都の場合でもバスがお寺へ10回くらい運ぶ。お寺、お寺、お寺だから結局お寺の印象はうすれてしまう。ひとつだけならいいんだが……。

なだ 日本も観光旅行などというとき、考えなけりゃいけませんね。観光旅行も修学旅行も、はた迷惑なところがありますよ。私など、外人の友人をお寺へ案内するとわっとかこまれて、せわしなくて、おしゃべりで、おしくらまんじゅうで、仏像の前へたっても押し流されてしまうんだな。この生徒たち、仏像を見ているのか、いないのか、これだったらお寺へつれてこなくてもよかったんです。それに修学旅行などは業者のスケジュールで、先生がきめるわけではなし。それから、ああいふ集団旅行のとき、医者の方立場からいうと、旅行先で集団中毒を起こす。日本の集団中毒は毎年旅行で起こります。旅なんてもんじゃないんですね。ベルトコンベアに乗って、ひとつの企業におしこまれているようなものです。

サービス過剰 檀 観光旅行で、わざわざお嬢さんをつけて下さることがある。美人の案内ガールがしゃべるから、悪いことはないが、海辺で落日のところを見ていると、金波銀波がきらめいてと説明してくれる。(笑い) あいにく私が行ったときは、どしゃ降りだったが、“もしお天気でしたら、金波銀波がきらめいて”と、そこまでいってくれるんだな。(笑い)

なだ それから歌です。歌ってもらいたくないときに、歌ってくれるので困るんだなあ。(笑い)

田中 平泉の近くの花巻へいくと、シシ踊りを見せてくれる。珍しいが、必ず見せてくれるから、2回めはいやになる。せっかくやってくれるのだから、見ないと悪いと思うと、楽しくなくなりますね。

なだ ポルトガルに行ったとき、復活祭の最中で、お祭りをやっていた。2日おくれたらだめだったといわれ、おれたちは運がよかったと喜んだ。晴れ着をきて、音楽はにぎやかで、楽しくやっていた。年がら年じゅうでは喜びもない。サービス過剰より、客が見たくて、その日やってくるというほうがいいんじゃないですかね。

それから、ヨーロッパと日本では、条件の差もあるでしょうが、ラテン系の国へいくと、ローマの遺跡にしろ、なんにしろ、古いものがあります。スペインなんかでも、廃墟のところへいくと、有名な寺院があるというわけです。ガイドが、ひなびた所だから行ってみたらというので、行ってみると、グレコの〈受胎告知〉ですか、そのいちばんいいのがあった。そういう落としものを拾うような楽しみが、日本の旅には少なくなりましたね。

檀 スペインの町角から裏小路へはいると、樽がひとつころがっている。それでもおもしろいと思うこともあるので、団体観光旅行もいいが、もう少し余裕がほしいね。

金子 どこへ行っても個性を失ってきたのはさびしいことですね。たとえば、倉敷の土蔵づくりの町などぶらぶら歩くと、なん回でも歩きたくなる。町の個性、ローカルカラーがなくなったということは、大きな問題です。最近では民俗芸能などの提唱もありますが、ひところは郷土の文化財を捨てることがあった。近代化の名でね。これは旅以前の問題ですが、土地のものは大切にしてもらいたいということを、祈りにした気持ちで感じますね。

田中 弘前へ行ったら弘前の女中さんがきてほしいんだが、これがまた標準語でしてね。(笑い)

山口 言葉にしてもそうですね。それなんですね、吉原で廓言葉をつくったのは……。 (笑い)



ユースホステルの若者たち 急速に発展しているユースホステルは、1910年にドイツの小学校教師シャルマンが始めた。

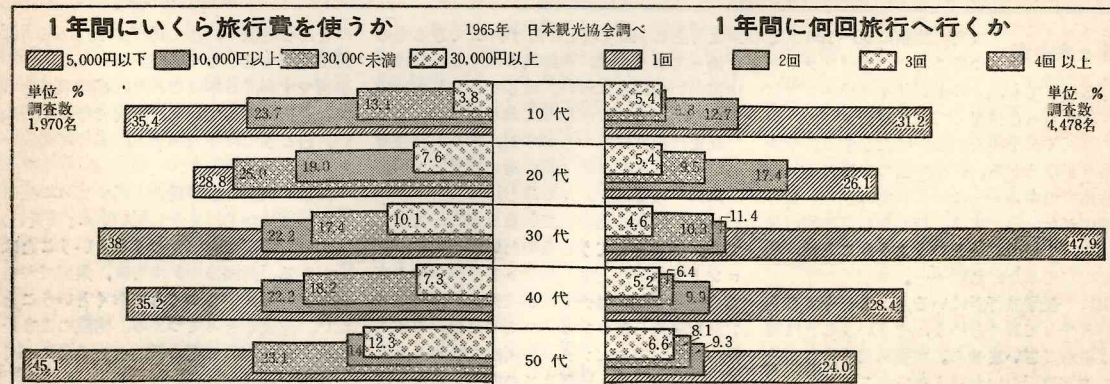


ユースホステル事務局 1951年10月に発足した日本ユースホステル協会は1954年に国際ユースホステル連盟に加盟した。



スイスのユースホステル 国際ユースホステル連盟加盟国は37ヶ国、会員総数は約1,689万人(1964年現在)にも達する。

過去1年間の観光旅行で一緒に行ったグループ									
11人以上の旅行者数を100とした比率 1965年 日本観光協会調べ									
職場のグループ	52.2	61.0	64.0	70.7	56.1	16.2	35.0	12.1	19.1
同業者のグループ			19.3	1.2	21.1	14.1	19.0	9.9	37.9
農業協同組合			3.1	4.9	2.4	7.0	14.9	2.8	7.2
地域のグループ	17.4		6.8	6.1	5.5	28.2	15.5	38.4	11.9
宗教のグループ				1.8	2.1	3.5	2.3	7.1	3.8
学校のグループ	26.1	34.1	2.1	3.7	1.7	15.5	5.2	16.3	2.7
観光旅行団体		4.9	2.1	5.5	6.9	12.7	2.9	7.8	6.8
その他			2.6	3.7	2.8	1.4	5.2	2.8	4.8
グループ	男 10代	女	男 20代	女	男 30代	女	男 40代	女	男 50代
年代別性別									



言いぶん有り

—宿と費用をめぐる—

司会 〈駅前旅館〉からみた当世旅行者
このごろの客 気質をどうぞ、山口さん。

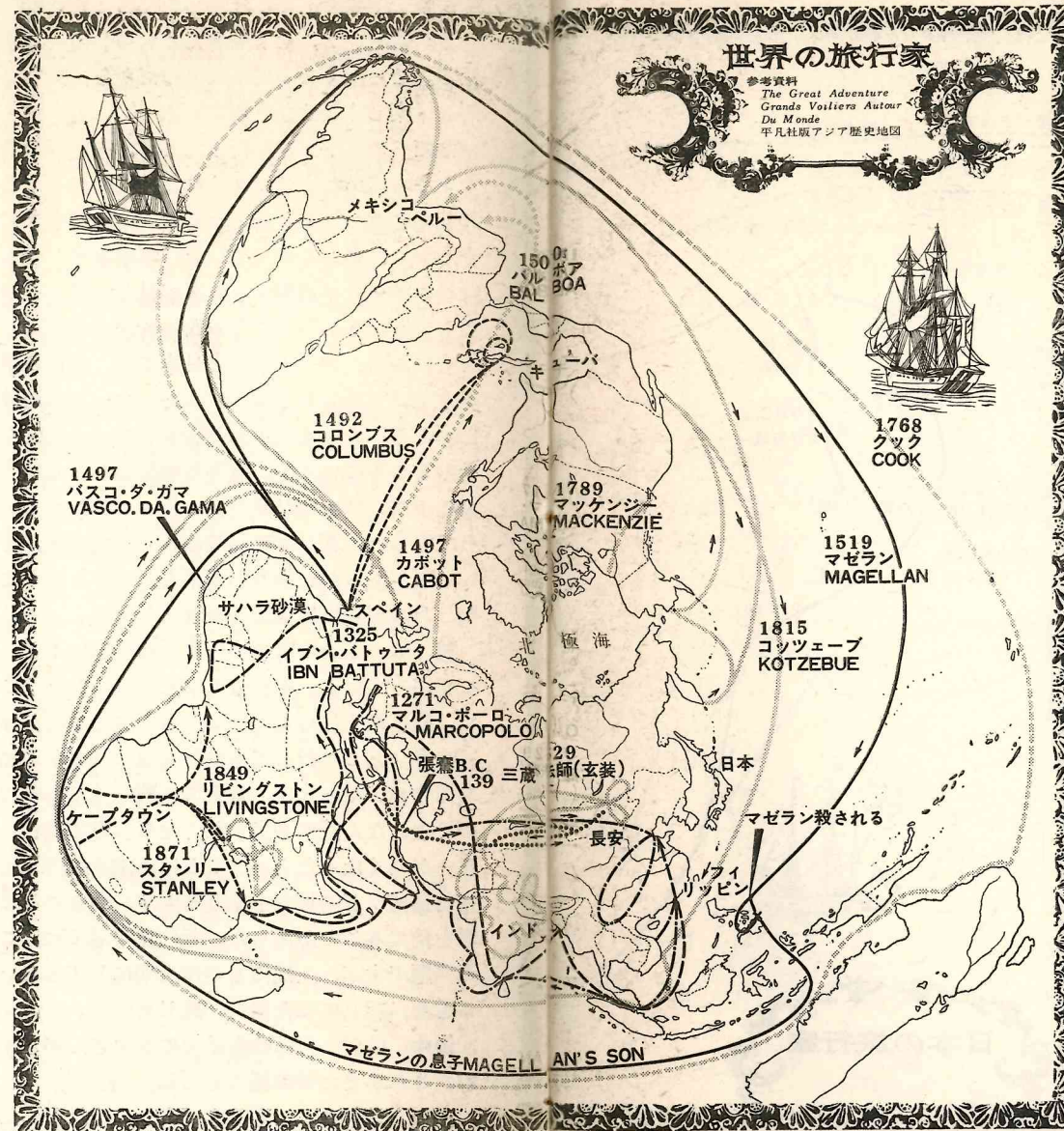
山口 ひとつの例ですが、団体で旅館につくと、東京ですから、親戚の所へ行っちゃ。『今晩は食事はしないから、その分はたのむよ』というわけですね。旅館にしてみれば、それだけの用意がしてある。前からいわれていれば別ですがね。そう申しては失礼ですが、旅行ずれをしているお客が多くなりました。家族づれでおいでになるお客たでも、ホテル・システムみたいにお考えになっておられるのではないかしら。せっかく東京へきたんだから旅館のものを食べるよりは、というお気持はよくわかりますが、旅館の立場から申しますと迷惑しごくでございます。

しかしまた、旅館がわも反省しなければなりません。御承知のような人手不足と重労働でしょう。まして実用旅館でしたら、1番の汽車でたつお客さまには、それだけのことをしてさしあげる、門限がおそれればおそいように気をくばるといふ点がね。宿を家庭の延長として、かゆいところへ手のとどくようなサービス、これがなくなりました。そこがわれわれの悩みのたねでございます。

田中 日本じゅうのどこの旅館も、朝は目玉焼き、晩は魚か肉でしょう。変わったのは十和田湖の鱒ぐらいですね。10日も旅行して、友だちにあうと、ラーメンをくわしてくれ、ということになってね。旅館の扱いは、どうしても画一的になって、むかしのように、この宿は親切、この宿は不親切ということがなくなった。痛感しますね。

檀 宿屋にとまる限り、ぜんぜんおなじですね。

同宿はごめん 山口 恐縮のほかございません。いや、それより郷土料理を出していただくほうがいいと、私自身も思うのでございます。ただ、板前さんは、東京でしこまれているものが多いでしょう。それが地



方旅館へ出ますので、展示会などをしたりして、研究はしているんですが、進歩のあとがない。それにまた、年輩者は日本料理、若い人は洋食中華料理が好き。いや、複雑でございます。まあ、たとえ1品でも、郷土料理をだして、これがこちらの名物ですから召しあがれというのが親切なんですね。それから日本旅館でも、むかしでしたら、おなじ県なら県のお客さんが同宿されることを非常に喜びましたものですが、いまは全然ひとりにしてくれというお客が多く、つまりひとり泊りでございますね。そこへいきますと、ユースホステルなどは、知らない人でも男女別々にとまって、いろいろお話をなさるので、いいことです。われわれ旅館の場合も、せめて同県人の同宿ぐらいなされたら、楽しかろうと思いますが、ところがない。会社の招待かなんか知りませんが、『晩はいいよ』と片泊りがふえます。これが都市旅館の悩みのたねでございますわ。

司会 そこでユースホステルの登場をお願いします。

金子 私は、現在いちばん旅らしい旅のできるの、ユースホステルではないかと思えますね。ユースホステルの場合は、夫婦でおいでになってもやすむときは男女別、お酒は絶対に飲めない。ここは自分の家という考えからして、食器洗いや掃除も、寝具のあげおろしもお客さんがする。出発のはじめから心構えがちがう。もっとも純粋な旅を楽しみながら、旅の本体にふれているのは、我田引水のように、ユースホステルを利用されるかたがたではないでしょうか。たとえば、東海道の超特急の旅、これは自然から引きはなされたところのスピード化です。ユースホステルは、歩くことをすすめています。なるべく乗物へは乗らない。そういうことを若い人はやっているわけです。

10年まえ、知床などは秘境といわれました。ところが羅臼岳とか硫黄岳とかにもどんどん登り、日本の秘境へ若い人たちがはいっていきようになった。歩いたり、リュック

紙に心あり

司会 天正少年使節がローマへ渡る時、アフリカをまわって、コロンカ島に上陸する。ここは当時インドまわり東洋航路の中継地で、ヨーロッパの船員は、記念に島の樹木へ船の名や人の名をきざむ。それで少年使節らも、そのしきたりにならって、和紙に一行の名をかい、島の天主堂にはったという。旅先の落書きのはしりかどうかはしませんが……。

田中 その天正少年使節が、はなをかんですてた和紙がいまのこっている。高橋邦太郎さんが『成城文芸』へ書きましたよ。

檀 その紙の話ですが、日本では紙をふんだんに使うでしょう。バリの安宿へ泊まった

とき、あそこに瀬戸物があって、紙がちょろちょろ下がっている。日本流にせいたくには引っぱってもだめだから、上からあげてとった。あるとき部屋掃除の女中が、私の袖を引っぱる。これは気があるなと感動してね。(笑い) ところがバスルームへつれていかれて、便所の紙のことで、手まねで、あなたは上からとったろう。減りかたを見たね、彼女は……。 (笑い)

檀 減りかただけでなく、あれはうまく折りあわせてあるのでしょう。下からとると1枚1枚とれるが、上からとるとばらばらになって下がついてこないのですよ。

檀 ははあ、よほど儉約しているな。

檀 むこうは腰をかける便器でしょう。そこへ敷いたりしますから、その意味では、よけい使う場合もあるし……。それに日本と気候のちがいがあって赤痢菌などの爆発的な伝播は少ないが、べつに儉約しているわけではないでしょう。

檀 よけい使うばかりか、そういう作法にかなってなかったのかな。(笑い) つまりそういうちがいをすることも楽しい。景色だけではない。まわり全体の人びとの生きよう、食べ物のこと、なんでも身近に感じられるところへいくには苦しみも悲しみもある。旅は楽しみだけではない。だから、なつかしいのだな。

旅と食中毒 檀 旅館に50~100人とつめこんで、えびフライを揚げるにしても、3日がかり4日がかりでしょう。きちんと保存しておく場所がないから、ネズミが小便をひっかけたりする。サルモネラがひろがる。折詰弁当の中毒、それから旅館での中毒——これが日本に多い。世界に類例がないほど多い。むりをした集団行動をして、1校総倒れというようなことは、考えなおしてみなければ……。

山口 修学旅行がはいると、3日も4日も前からやっておくという、そういうことは現在に絶対ございません。本郷あたりは日本全国で修学旅行のいちばん多いところですが、

少なくとも100人以上の揚げ物のできるものを持ってあります。旅館業者の立場からは、中毒がいちばんこわい。だしたらおしまいですからね。それは注意しております。

檀 それはわかりますが、それだけ注意して日本に赤痢と食中毒の統計は……。

山口 なるほど、なるほど。

檀 医学の進歩している日本で、どうしてか。医者としてうしろめたい感じがしますが、ロンドンにいたとき、スコットランドの1市で300人ぐらい腸チフスがでた。アルゼンチンから輸入したコンビーフでやった。日本へ帰ったら、アルゼンチンの馬肉でサルモネラ菌のさわざです。イギリスの腸チフスなどは

ほとんど絶滅で、なん10年ぶりなんです。防疫体制もどうしていいかわからないという事情ですが、日本はこれだけ経験者がそろって、必死になっていて、赤痢で年間1万人近い。むこうでは1人か2人、多くて10人いるかないかでしょう。

山口 病院で副院長さんがチフスで死にました。まったく、どうしていいか。(笑い)

檀 集団で食事をつくるということは危険がある。外国のホテルでは、集団でおなじメニューの食事をつくるということはない。注文をとってつくる。病院のようなどころでも、同じ種類の料理をたくさんつくる事故を起こす。運動会の折詰も同じですよ。

を背負ったりして、たくましく旅をすすめるようになった。形としては、もっとも旅の本体を示すものですね。

なだ アメリカで《1日5ドルの旅》という本が出て、ベストセラーになっています。たしか日本語訳もあるはずだと思いましたが、ヨーロッパにも、この本の中で紹介されているホテルがある。食べて、寝て、足代をはらって1日5ドル、1,500～1,600円というところでしょうか。これはたいへん利用されていますが、日本でしたらどうしようもない。1日5ドルでは旅にならない。

金子 そうなるとやっぱりユースホステルですね。

なだ ところが、ユースホステルは、外国の安宿のように、どこの町にもあるかというそうじゃない。

金子 これはやはり、歴史の浅いためですね。

なだ それはそうですが、そのユースホステルにしたところで、ドイツなんか、10年前でしたが、日本よりもっと安いんですね。ライン河畔などで、くずれた城の地下室をちょっとやって寝具をおいて、そのころ1マルクです。日本で70円ですね。それでけっこうきれいなんだな。食べるのはソーセージと、ジャガイモの薄切りのパタいため、これはどこでもおなじですが、これが1マルク。日本より収入は2倍も3倍もある国で、なんて安い旅ができるのだろうと、つくづく思いましたね。

山口 ヨーロッパの宿代はほんとうに安いですね。

なだ 日本でも、お客集めにばかり熱中しないで、旅そのものを楽しみたい人の集まれるようなところしてもらわねばね。その意味でユースホステルなどは、もっと盛んになって、外国人もうんと利用できるようなさっだらいいと思いますね。

檀 ふたつあったらいいね。隣あわせにみんなで寝てもいいというのと、個人的にひとりずつ泊るところと。性格やいろいろな条件があって、人と交わらずに、自分で自由な行動をしたい人もいるから……。

旅の心得手帳 檀 ローマでも観光バスが毎日なん台もでていて、どのバスにも乗ろうと思ったら、なにがなんだかわからなくなった。世界じゅうがそうなんだな。

山口 見物欲旺盛です。ところが、どこを案内されたのかよくわからないのです。帰ってからパンフレットをみて、ああ、そう、あそこを見たのか、なんて……。 (笑い)

なだ 農村のお年よりなどで、農閑期なんかにおおぜいでおしゃべりしながら、なんだかわからないが見物してまわるという、そういう楽しみを否定はしないが……。

檀 ユースホステルへはいりたいと思うけ

ど、なんか、ぼくなどおこられるようで。

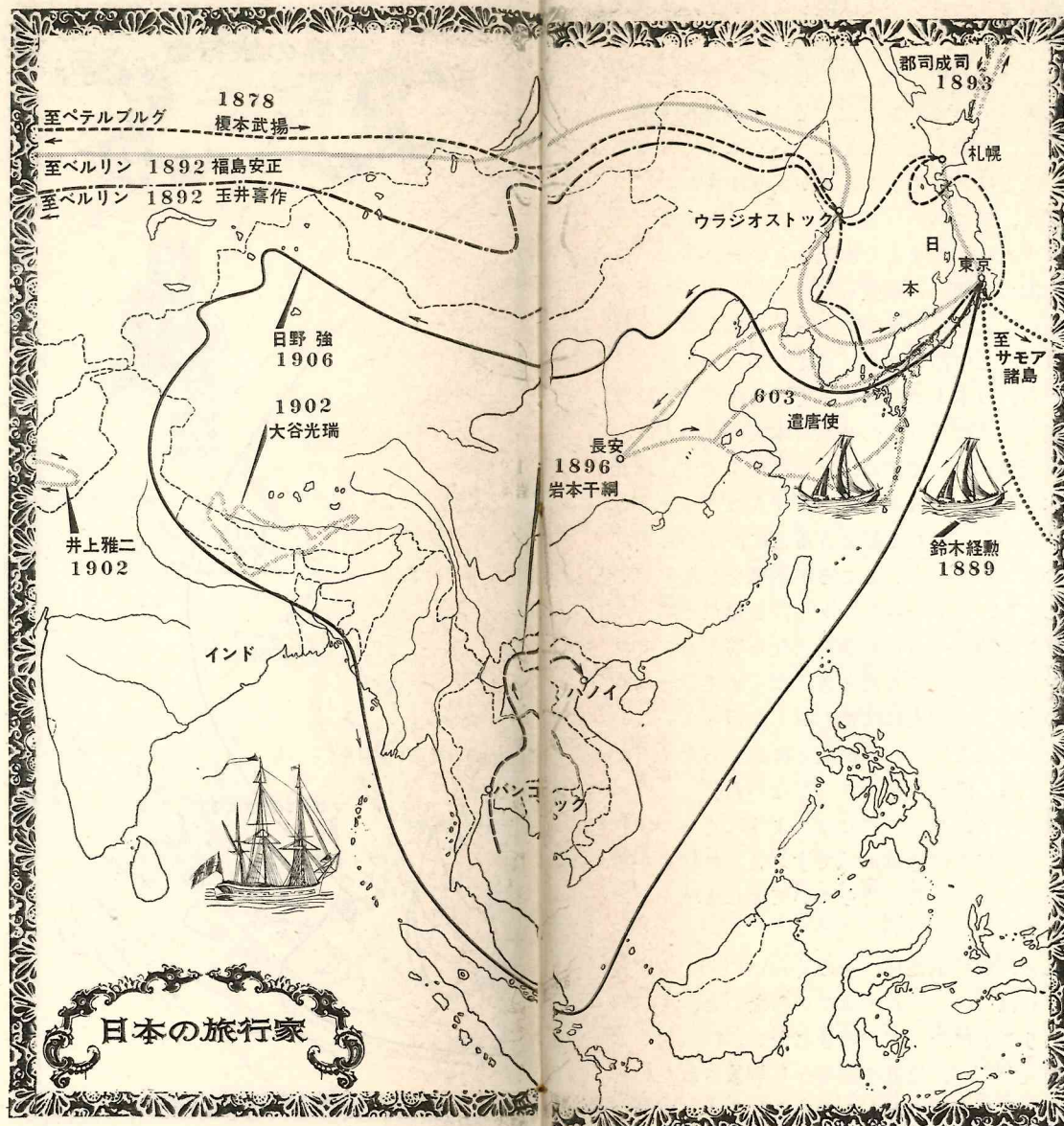
金子 ぜんぜんそうじゃありません。これくらい気楽に利用できるシステムは日本にはないのではないのでしょうか。素朴で、簡素な旅行システムという発足の基本は現在も流れておりますし、すぐグループができちゃう。日本ではチップがいらないし、おっかないことはありません。入会するとき、写真とかなんとか、ちょっとめんどうですけど。それとお酒を飲まれるかたは、これだけは……。

なだ それが困るね。夜おそく電気をつけて勉強しようということとはできない。そういう不自由さを除けば気楽な旅はできますね。

山口 旅館でもサービス料から消費税が

いておりますから、よけいなチップをやる必要はございません。それから旅館の立場から申し上げますと、1人旅ですとことわられる傾向が全国共通にあります。やはり交通公社はじめ、あっせん業者のクーポンにしておけばまちがいありません。それにもうひとつ駅へおりたら駅から電話をかけさせる。かけてくれます。これがいちばんいいと思います。ぜひ御利用していただきたいと思います。

金子 信用ある業者にたのむのもいいが、自分でプランをたて、ふところと相談しながらの旅も楽しい。ユースホステルは素泊りが250円、朝晩たべて550円が最高ですからね。設備もバラエティに富んでいて。



勇敢に旅に出よ

——旅のこころ——

旅と言葉 司会 桂さんのおいでになったのは独立まえのコンゴでしたか。

桂 ええ。1959年に私が行った時は、仏領赤道アフリカという広大な地域ですが、翌年には4つに分れてそれぞれ、コンゴ、ガボン、中央アフリカ共和国、チャド、という独立国になりました。私が行った中央アフリカは、広大な土地に少数の施政官がフランス政府から派遣されて、それぞれの地域で酋長などと連絡をとりながら、道路をつくったりして治めていましたが、なにしろ広大すぎて、何をしても焼け石に水みたい。そのためか、現地人も私の会ったかぎりでは独立運動とか民族意識の強烈な人はいませんでした。都市のインテリがそうした運動の指導者でしょう。

パリで狩猟服なんか買って行って、それはまあ役にたったものもありましたが、むしろカクテルドレスがいるんですね。観光地でないこうした地域は、フランス人ですら旅券は絶対とれませんし、政府の役人で厳選された由緒の正しい人達だとかいうことで、そのためなんだかしらないけど、パリの社交界がサバンナの中で花咲いたみたい。白人どうしの隣家といえ、数十キロも離れているのに、それが毎晩、夫婦づれで着飾って、車で集ってパーティーばかりやっている。狩りの最中、食事をするのにも、トラックに積んできた食卓をジャングルの中にすえ、白麻のテーブルかけとナフキンといったぐあいだね。気らかなハダカのアフリカ旅行を考えがちですが、こうした奥地旅行は、役人の家族と交際しなければならぬので、かえって気もはるし、お金だって文明国旅行よりよけい必要だともいえるんじゃないでしょうか。

檀 旅さきで、やたらに話しかけられるの、困るね。飛行機でぼんやりしている、隣のアメリカ人が、——話しかけるのたいていアメ

旅は気まかせ

檀 私は人に誘われたらどこへでもいく。たったいっぺん断わったことがある。新京にいたとき、蒙疆地区の参事官を指揮していたOという友人から、蒙古の大將について旅行しないかと言われた。

その大將は、半年くっついていたら汚なくてどうにもならないと思って断わった。いっておけばよかった。誘われて断わったのはそれだけで、それ以外は原稿をおぼろだしても出かける。生まれつきだな。中国をうろろろしていたのは戦争中で、だからどこかの部落の家の中で暮らして、近所の中国人とつきあって自分で食べものをつくって食べ

てね。船でいったり、歩いたりしたから、ますます地域やその人の暮らしもわかる。そういう町はなつかしい。

だから、新疆省なら新疆省に落下傘で落とされても暮らせるというくらい、なじみの土地でないと楽しくないな。

その人たちの生活感情が、あらましわかるというところがなつかしいですね。

なだ ふしぎなもので、ぼくなんかあわせて2年パリにいて、エッフェル塔に昇ったことがない。そういうふうになっちゃう。そのかわりアラビア人の汚ない労働者や、淫売婦のいるところをこそ歩いて、あの淫売婦

はどうしているかなと思ったり……。 (笑い)

田中 私は、許されるなら、台湾の高砂族のところへ行きたいな。高砂族はキリスト教になっているので、かれらと賛美歌を歌えたら、日曜礼拝ができたらと思いますよ。

桂 旅には、お金をどんなふうにも経済的に使って、どうまわるかという計画的なものと、ガリバー旅行記のような旅のみかたというものもあるわけですね。人間探求といううな。

檀 人間がいなくてつまらない。人間のいるところは楽しけれど、ペンギン島だけではない。ぼくも昔、金がなくて、地図の上だけで旅をしたりした。これも旅の1種ですね。



町内の旅行団体 国鉄周遊券の発売数は、1959年は160万枚だったのが、61年度300万枚、63年度400万枚と増加した。



修学旅行 旅行先でしたいことは散歩、入浴が最も多く、写生・写真、買物、麻雀・将棋が続いている。(日観協調べ)

リカ人だな。連中もヨーロッパでは頼りないから、日本人と見ると友だちづきあいがしたいらしい。

なだ 旅に出て、ようやくひとりになったと思うと、日本人が飛行機に乗っていて、あなた、どこへいきます？どこのホテルか？と、巾着みたいどこへいくにもくっつかれて離れない。ほんと往生するときがありますね。

田中 私などは、どこへいっても中国人でとおるな。

なだ アメリカ人に、おまえ日本人かといわれると、こっちは、共産中国の人間だと威張ってやれば、ギョッとするかも知れないが、人がいいものだから、日本人だと白状してしまう。日本人と中国人としぐさでわかっちゃう。

檀 外国だから、日本人には愛想よくしなけりゃいけないと思って、観光バスに乗りあわせた日本人の女の人の、こんにちは、お天気がいいですね、といったんです。観光バスも、なるべく日本人は日本人、ドイツ人はドイツ人というように乗せるから、好むと好まざるとにかかわらず、私はその女性のよこにすわる。ところが返事をしない。いつまで親切にしても、しゃべらないから、2世だと思ったので、あやしげな英語でやったら英語でなら答える。そうして、カタコンブにはいりこんだとき、はじめて自分は朝鮮人だということです。日本人には憎しみしか持っていないからしゃべらなかったという。朝鮮人とはわからなかったな。だから外人には、区別なぞつきっこないね。

山口 飛行機の中で、日本人にヒルのようにくっつかれた話ね、くっついたほうは地獄に仏ですよ。これはよかった、日本人がいた。ですから、くっついて離れませんよ、まったくのところ……。 (笑い)

なだ だけれど、旅に出たら、そのくらいの苦しみは覚悟していかなければ……。それで気にいらないと、あいつは生意気だということになってやりきれない。(笑い)

桂 よく男の人なんか、家庭や職場から解放されたいというけど、ひとりも日本語のわからないところへ、いきなりほうりだされちゃう。食べ物もそうですよ。解放どころ

か、わっと油の中へつけられたくらい、いきなり……。日本の男のかたは家でのおんぼりしているほうが、よっぽど解放感が味わえるのではないですか。(笑い)

田中 芭蕉などは人生は旅で、しかもひとりの芭蕉は苦勞して旅をしていますね。そういう考えかたが東洋にはある。西洋人は貧乏旅行はあまりしたくないのでしょうね。

金子 ぼくはヨーロッパでも、パリでも、ミュンヘンでもぜんぶ歩いた。それが楽しかったですね。ヨーロッパでは道路がいいというけど、一生懸命きれいにしている。そういうおっさんと肩をくんで写真を撮ったり、そういう楽しみをするには、最近の旅はせっかちすぎますね。

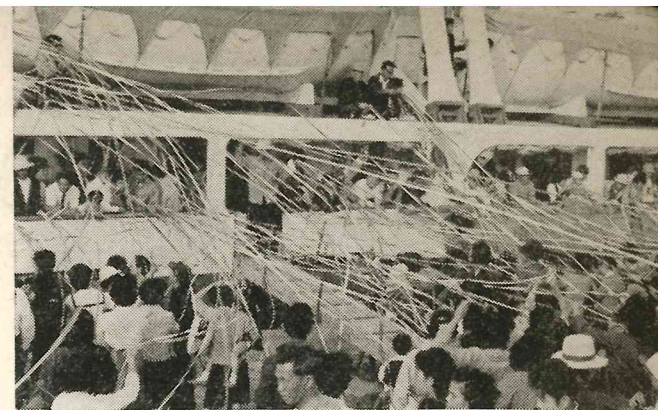
山口 旅の恥はかきすて——あれは、ゆっくりと、自分の好きなような旅をしようということですからね。

なだ 旅は恥をかくものですよ。外国へ行っても、どれが幾円のお金かわからなくて笑われたり、東京でも建物をさがして、人にきくと、自分のうしろにあったり、そういう失敗をしない旅、恥ずかしい思いをしない旅というのは、ほんとうはあるものではないのですね。あまり西洋式な旅ばかりでなく、日本人の旅の心も忘れないでね。芭蕉式の水杯の出発も、時がたてばけっこう楽しみに変わる。

田中 このごろの飛行機がそれですよ。(笑い)

金子 私は若い人に、お金は少なくとも勇敢に旅に出なさいといいたい。貧乏旅行こそ旅の本質ですよ。私どもの施設を使ってもらっても、お寺や駅で野宿してもいいじゃないですか。たくましく旅してほしいな。

なだ 日本には感傷的な旅の本が多いですね。《奥の細道》のような。西洋ですと《東方見聞録》のような、未知の世界へはいりこんでゆくという、西洋の旅の心にも学ぶところがあると思います。ただ景色が美しいから行ってみるのではなくて……。私としては、国民性にあった旅のころというものがあるけれど、一式ではなく、いろいろな旅のころを持ちあわせるのもいいと思いますね。(終り)

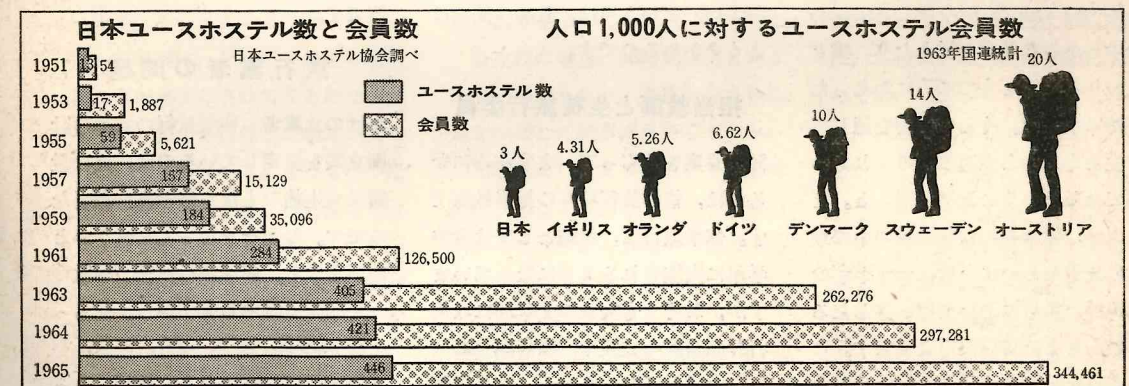


南米へ行く人々 宮古島の農業労働者は、3年間ぐらい島を離れて働く。船の汽笛が海に響くと別れはいつそう悲しい。



外国からの観光客 外人観光客は 1955年の指数を100とする、63年は296で、およそ3倍に増加した。羽田空港にて。

過去1年間の海外旅行とこれから行きたい国						調査数 4,478 名	%は旅行経験者を100とした比率。行きたい国は1位から順に1/10ずつ減っている。日本観光協会調べ					
職 業 別	行った人	ハワイ	アメリカ	スイス	イタリア	フランス	中 国	イギリス	ドイツ	スウェーデン	ブラジル	その他
農 村 漁 業	0.9%											
商 工 業 自 営	0.3%											
自 由 管 理 職	7.2%											
専門事務・技術職												
一 般 事 務 職	0.2%											
労 務 職												
主 婦												
学 生												
無 職・その他	0.6%											



年ぎめ予約の前金切れはそのつどお知らせします

さきに42号で行ないましたアンケートによりますと、“予約前払いの期間を忘れたから、そのつど知らせてほしい”旨のお申越しが少なからずございました。本誌予約購読前金切れのご通知は、つぎのような要領で行なわせていただきます。

本誌送付の封筒に、“〇月で前金切れ”の文字を明記してお知らせします。

前金切れの通知のありしだい、お申し込みの方はなるべくお早めに1年分(200円送料共)または2年分(400円)をご送金下さい。そのさい、振替用紙のばあいには通信欄に(その他のばあいには通信文に)会員番号をご記入下さい。会員番号が記入されていまいと、新入会と混同します。会員番号がおわかりにならないばあいは④の文字を必ずご記入下さい。

※7月号あたりから、封筒の紙質をより丈夫なものにあらためます。

事務局から

アンケートが、3月下旬のいまも、ひきもきらず寄せられております。本誌の内容や、友の会の事務処理などについて貴重なデータやご意見が集積され、一同カードの山にさまざまの角度からとりくんでいます。アンケートのなかに苦情のありました、一部送本用封筒の破損の点につきまして、さっそく検討しました結果、紙質をよくし、“折らないで下さい”の文字をもっと大きく印刷して、送本を改善したいと存じます。ただし、新封筒による送本が全国にゆきわたるのに、多少の時間がかかりますので、その点はどうかが了承下さい。今年の7月20日号あたりで、もれなく新封筒にきりかわるみこみでございませう。

月刊《国民百科》バックナンバー 在庫のお知らせ

本誌バックナンバー入手ご希望のかたが、その後もかず多くございますが、No. 2, 7, 8の各号は品切れとなりました。その他の号は多少の在庫がございますので、どうかご注文下さい。No. 31までは1部20円、No. 32以降は30円、送料当社負担です。

神戸市長田区西山
藤 沢 久 容

14867

会員番号

41年7月で前金切れ

国民百科

株式会社
平井
東京
電話

編集部から

本誌も、増ページ・有料制以後、今月で10号をかぞえます。百科事典を中軸にして編集をすすめてきましたが、まずおおかたのご満足と積極的な支持をいただいていますことが、このたびのアンケートでおおよそあらかになりました。しかし、もちろんいくつかの研究課題も読者の皆さまから与えられました。そのひとつは、追補記事のいっそうの充実という問題です。

《国民百科事典》追補はもちろん《世界大百科事典》追補の充実を求める声が少なくありません。次号は追補小特集号 日本の国道要図(3色刷) 道路交通法の要点 新道路標識(4色刷) 航空機自動離着陸装置 消費者動向 内外音楽コンクール他

月刊《国民百科》1966年5月号 No. 44 ④

毎月1回 20日発行 定価 30円

1966年4月15日印刷/4月20日発行

編集兼発行人/下中邦彦

発行・発売所/株式会社 平凡社

東京都千代田区四番町4

電話東京265-0451(代)/振替口座東京29639

印刷 東洋印刷株式会社 株式会社東京印書館

製本 石津製本所



氷河問題

執筆きのうきよう

辻村太郎

日本アルプスの高山を中心とする氷河作用について、問題を投げかけた学者は3人ある。2,500m以上の高度で山頂付近に存在した短いカール氷河の跡を見つけた山崎直方、八ヶ岳の山麓など1,000mぐらいの所に、いわゆる低位置氷河の堆積物が残存すると主張した小川琢治、2,000m以下の谷底まで氷河が流れて、U字形をした氷食谷の地形を造ると断定した大関久五郎。山崎・小川の両先生は、1900年ごろウィーン大学で、有名な氷河学者ベングに師事し、大関先生も10年ほど後に、ベルリン大学で同じ学者の教えを受け、〈元これ同根より生ず〉であるから、あまり説が分かれたりして、〈相俟ること何ぞ甚だ急なる〉では困るのである。

私は山崎先生の門弟で長いあいだ高山の氷河地形に注意していたが、もともと地質学科の出だから、この10年来氷河堆積物の採集に身を入れ、小川先生の流れを汲むことになり、大関先生の谷氷河を証明する結果にもなった。しまいには秩父や足尾の山地と尾瀬の山山や谷川岳にも氷河があったという、予想外な事実も知られ、武蔵野台地からみごとな氷河のすり傷をもつ石が出るという、夢のような話になってしまった。

万一それが衰毫のせいと憫笑される結末になったら、〈命長ければ恥多し〉の見本みたいなものだが、これは必ずしも私独りの仕事ではない。大正3年の夏に、小川先生の命を受けて、ハイデルベルク大学の地理学者ヘットナーを上高地に案内し、島々の谷合で氷河漂石ヘットナー・シュタインを見いだすきっかけを作った、内田寛一博士の示唆により、共に日本大学で養成した大角留吉および金田頼貞両君の助力に負う所が大きい。

さらにその前に日本地理学会では、富山大学の深井三郎教授による、立山山麓早月川の段丘に含まれた氷磨岩塊の報告があり、昭和6年パリで開かれた国際地理学会議の見学旅行で、オーヴェルニュ高原の同種岩石を観察した私に、多大の刺激を与えたことも確かである。最近にはこの3月に出た地理の雑誌で、国土地理院の五百沢智也技官が、空中写真の研究と実地調査に基づいて発表した、氷河地形の分布に関する議論がある。これは画期的な業績であるといつて差支えない

と思うが、その論旨は堆積物から考えた私たちの結論と少しも矛盾しないのである。

武蔵野のロームといわれる赤土の層は、一般に火山灰の堆積といわれるが、少なくともその一部には河流によって運ばれた砂利や砂が混ざり、その下部にある砂礫層と共に、明白な氷成物質と思われる岩片を含んでいる。その特徴を一口にいえば、切りがたになって平らに削られた面があり、そこに斜子のような磨り疵の模様がついている。そういう形の石を見つけた場所



所は、主に東京大学の構内にある建築工事(医学部総合館、工学部7号館、理学部3号館、原子工学教室)であるが、上野竹ノ台の噴水工事と虎ノ門の教育会館、下高井戸の日本大学運動場の外に、三宅坂や高田馬場その他の地下鉄道工事で、深く掘り下げられた箇所である。

それらの石は大部分秩父山地から運び出されたので、関東平野を取りまく山々には氷河があり、足尾山地と尾瀬の至仏山や谷川岳の標高は2,000m内外だから、雪線は1,500mぐらいまで下降したに相違ない。昭和37年に十文字峠を越えた時には、千曲川の上流にりっぱな氷河の堆積物があり、栃本の西にあたる山稜では、谷川岳と同じく1,700mの高度に、氷河の力で研磨した羊群岩が残っていた。最近大月の桂川段丘で実にみごとな氷磨礫が見つかり、岩石の性質から判断すると、笹子峠付近の御坂山脈まで氷河作用を受けたことになる。

江古田の化石植物群によって、氷河期には武蔵野にカラマツやシラビソなどの針葉樹林が茂っていたというが、秩父山地では御嶽あたりの下方までハイマツが生えてライチョウが住み、東京湾に注ぐ河の下流にはイワナが泳いでいたであろう。氷磨岩片を含む赤土や砂礫の層は、横浜大学鹿間時夫教授の山ノ手時期に相当して野牛の化石で代表される、ヴュルム氷期の寒冷気候を現わすものにちがいない。

(東京大学名誉教授)

カット(上)右手はアルプス・ユングフラウの氷河の末端付近。(下)筆者。おわび 第43号当欄の筆者、木村元一氏は現職は一橋大学教授です。